



# むつかわ瓦版

MUTSUKAWA KAWARABAN

Vol. 23

発行：六ツ川地区  
社会福祉協議会  
発行人：最上 直  
発行日：令和3年9月30日



## ボッチャ体験会

6月27日（日）六ツ川一丁目コミュニティハウスにてボッチャ体験会を行いました。

東京2020パラリンピックでは、金メダルを含むたくさんのメダルを獲得しましたが、六ツ川地区では一足早く体験会を行い、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け盛り上がりました。

### ボッチャとは？

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。



参加者25名は、ボッチャは初めての人がほとんどでしたが、子どもから大人まで楽しめました。後半は大人の方が夢中に・・・

今回、講師と用具の貸し出しは「横浜市スポーツ協会」さんにお願ひしました。

ボッチャの歴史やルール説明がわかりやすいと好評でした。講師の依頼は費用がかかりますが、ボッチャの用具は無料で借りる事が出来ます。

興味のある方は、横浜市スポーツ協会までお問い合わせ下さい。



# 連合だより

## 六ツ川地区連合自治会

# 六ツ川野外サロン・菜園

代表 渡辺秋貞



六ツ川野外サロンは、平成23年10月から六ツ川連合土地管理委員会支援の下地域の絆づくりを目的に発足して早10年、家に閉じこもりがちの高齢者が土に触れ、野菜の収穫の喜びを味わい、地域の人と交流する場として毎週月曜日(14:00~16:00)〔農作業とサロン〕を開催し、こつこつと活動をしています。

平均年齢70歳、最高齢85歳の総勢24名で、近年はコロナ禍の中、手洗いの徹底や作業中でもマスク・手袋を着用する等、感染対策をしながら活動しています。

今年は4月に別所小学校2年生から野菜栽培の方法を指導してほしいとの要望があり、「野菜作りとは?」という話から指導を始めました。生徒たちは別所小学校での肥料選びや土づくり~プランターへの土盛り等、土まみれになりながら楽しそうに作業をしていました。キュウリやナス・ミニトマト・ピーマン・枝豆等、生徒が各々選んだ野菜をプランターに植え付け、6月末にはどの野菜も見事な出来で中には販売可能な物もありました。7月には、生徒たちからの華やかな感謝会に招かれメンバーみなほのぼのとした気持ちで帰ってきました。ひとつ残念なことは、生徒たちをじゃがいも堀に招待しましたが2週連続で雨天のため中止となってしまったことです。

7月はタマネギ・ジャガイモの即売会を実施し、地域の方々から好評だったため第二回即売会を開催。ジャガイモ・長ネギとも完売しました。

9月からは大根の種まきや葉物の野菜作りを予定しています。10月以降は里芋と落花生の収穫を控えており、質・量とも期待しています。収穫量によっては、秋の即売会の開催を検討します。

野菜作りとともに、近隣の道路や周辺の環境清掃に努め、近隣とのコミュニケーションに努める活動もしていきたいと考えています。



## 地区懇談会

6月5日、六ツ川一丁目コミュニティハウスにて地区懇談会が開かれました。例年は会場いっぱいに参加者が集まりますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、会場参加とZoom参加のハイブリッド形式という初めての試みで、参加者は25名なのに会場には11名しかおらず、いつもとは全く違う雰囲気です。「防災・減災への取り組み」を議題に話し合いました。地域住民にとっては身近な問題で、繰り返し学び、話し合う事が大切だと思います。



## 第31回 地域環境と子どもたちを考えるつどい

日時：令和3年7月3日(土) 場所：六ツ川一丁目コミュニティハウス  
テーマ：「性差別・ジェンダー問題について」  
講師：特定非営利活動法人SHIP 代表 星野慎二先生  
参加者：32名



### 参加者の声(振り返りシート)

「LGBTという言葉は耳にするが、具体的には知らなかったので勉強になった。」  
「言えずに苦しんでいる人が少しでも楽になるように理解を深めていきたい。」  
「いい講演だった、もっと多くの人に聞いてほしい」等の声がありました。

### 六ツ川地区連合自治会主要行事(今後の予定)

11/7(日) 連合防災訓練    11/14(日) グランドゴルフ大会    2/20(日) ふれあい祭り



# 社協だより

## 六ツ川地区社会福祉協議会

## 第4期南区地域福祉保健計画について

第4期南区地域福祉保健計画(令和3年~令和7年)地域福祉保健計画とは、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、地域の皆様と区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザ等をはじめとした区内福祉保健関係者・団体等が力を合わせて進めていく計画です。



新型コロナウイルス感染症の影響で、会議の延期や中断をしながらも「地域福祉保健計画」の策定に向け、六ツ川地区でも「六ツ川ってどんな町? 名所は?」メンバーで意見を出し合いながら、話し合いを進めています。

現在、区民の皆さまからの素案・概要についてのご意見をうかがうアンケートを実施しています。ご意見のある方は、南区役所福祉保健課事業企画担当までお願いいたします。



## 認知症サポーター養成講座

7月9日(金)南中学校体育館にて中学2年生162名を対象に講座を行いました。

講師の六ツ川地区キャラバンメイトの皆さんに「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」の講話と寸劇を披露していただきました。寸劇では南中学校の先生・生徒さんにも参加していただき、熱演に盛り上がりました。



## 民生委員研修会

8月5日(木)六ツ川一丁目コミュニティハウスにてメットライフ生命保険(株)の相続診断士の方に講師をお願いし、相続や生命保険の手続きの話やコロナウイルス感染症にかかった場合などの保険の免除の方法を教えてくださいました。

普段なかなか聞けない話を聞くことが出来て、いい研修会になりました。



### 六ツ川地区社会福祉協議会主要行事予定(10月~3月)

2/8(火) 終活講座  
2/20(日) ふれあい祭り・福祉バザー



# むつかわ広場



## セブンイレブン 横浜六ツ川店



六ツ川の

名物さん

今回の名物さんは平戸桜木道路沿い、別所小学校入口信号側にあるセブンイレブン横浜六ツ川店です。

30年以上オーナーを続けている細川さんは、「地域の皆さんに支えられてここまで続けてこられました。感謝しています。」と、まず地域の方々への感謝を口にされました。

品揃えが多いので、「高齢になってスーパーまで行くのは大変だから」「足りないものをちょっと買い足しに」「出かけた帰りに」等利用される方も多く、取材に伺った時もお客さまの足が途切れませんでした。

「地域の皆さんがいつまでもお元気でいてくださることを願いつつ、皆さんがホッとできるような身近な存在として、これからも地域の方々と共に歳を重ねていくお店でありたい」との言葉に温かさと頼もしさを感じました。

## 船からみた海洋プラスチックごみの現状

### ～海洋プラスチックごみについて考えませんか？～

海や海岸のプラスチックごみの問題は、2020年7月からのレジ袋有料化などを通して、ここ数年注目度が高まっています。そこで、「なぜプラスチックごみが問題なのか?」「マイクロプラスチックって何?」ということを考えるために、9月19日、六ツ川一丁目コミュニティハウスで「船からみた海洋プラスチックごみの現状～なぜ海洋プラスチックごみが注目されるのか」というテーマで講演会を開催しました。講師は東京海洋大学 海洋資源環境学部 准教授 内田圭一先生で27名が参加しました。

私達の不注意で捨てられたゴミが海に流れ混んで紫外線や波の影響で劣化してマイクロプラスチックとなり、それを食べた魚を人間が食べることなどで、1週間にカード1枚分のプラスチックが人体に入っていると聞きぞっとしました。

3Rに取り組み分別をしっかりと  
きれいな海に戻さなければと思いました。



### ●編集後記●

今年の夏は、オリンピック・パラリンピックのボランティアとして活動しました。

コロナウイルスの流行、1年延期、無観客、緊急事態宣言と刻々と変わる状況に不安なこともたくさんありましたが、ボランティアとして様々な人と関わり、多くの事を学ぶことができました。

この貴重な経験をこれからの活動に生かしていきたいら・・・と思います。  
(光永 美代子)

### 編集長

光永 美代子

### 編集委員

最上 直

小早川 津恵乃

高橋 祥世

舛田 悦子

